

基礎作業学実習 2 にて陶芸が始まりました (2025.4)

2025年4月25日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。

その作業活動として「陶芸」を用いることがあります。

3年生になると2年生の時と違い、より複雑で完成に時間を要する活動を実習することになります。

今年も手回しろくろで湯飲み作りが始まりました。

陶芸は上肢の筋力、筋持久力、巧緻性や上肢の力の調節、作業への耐久性（長時間の座位保持）などの改善を目的に利用されます。



まずは粘土を練ります



粘土で湯飲みの底を作りました



湯飲みの形になるまで積み上げます



焼き上がりが楽しみです